

各 位

会 社 名 関東電化工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 富田 芳男
(コード番号 4047 東証第 1 部)
問合せ先 人事総務部長 高橋 俊英
(TEL . 03 - 3216 - 4561)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 5 月 21 日の決算発表時に公表した平成 17 年 3 月期(平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

- 1 . 平成 17 年 3 月期中間業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	15,600	1,600	800
今 回 修 正 予 想 (B)	15,000	1,300	700
増 減 額 (B - A)	600	300	100
増 減 率 (%)	3.8	18.8	12.5
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月中間期)	15,422	1,968	958

- 2 . 平成 17 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	17,500	1,700	850
今 回 修 正 予 想 (B)	17,000	1,500	800
増 減 額 (B - A)	500	200	50
増 減 率 (%)	2.9	11.8	5.9
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月中間期)	17,216	2,099	1,054

3. 平成 17 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日）
（単位：百万円、%）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	32,000	4,200	2,100
今 回 修 正 予 想 (B)	31,600	2,900	1,350
増 減 額 (B - A)	400	1,300	750
増 減 率 (%)	1.3	31.0	35.7
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月期)	31,298	4,205	2,111

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 22 円 91 銭

4. 平成 17 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日）
（単位：百万円、%）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	36,000	4,400	2,200
今 回 修 正 予 想 (B)	35,500	3,200	1,500
増 減 額 (B - A)	500	1,200	700
増 減 率 (%)	1.4	27.3	31.8
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月期)	35,075	4,374	2,193

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 25 円 54 銭

5. 修正の理由

当中間期につきましては、基礎化学品事業部門は販売価格引き上げ等により、その他事業部門は設備工事の受注増等により、売上高はそれぞれ当初計画を上回る見込みですが、精密化学品事業部門の売上高は計画を下回る見込みです。これは、三フッ化窒素が、海外における販売競争の激化と主要ユーザーである一部液晶・半導体工場の立ち上げの遅れにより、販売数量が計画を下回るためです。これに加え、ベンゼン等の原燃料価格が高騰したことにより売上原価が増加し、利益面においても当初計画を下回る見込みです。

通期につきましては、下半期の売上高は、ほぼ当初計画どおりと見込んでおりますが、厳しい競争下、中間期の売上減をカバーするには至らないと予想しております。利益面においても、原燃料価格の高騰に加え、半導体・液晶用特殊ガス類の予想を上回る販売価格の下落等により、経常利益、当期純利益とも、当初計画を下回る見込みです。以上により、通期単独業績見通しは、売上高 316 億円、経常利益 29 億円、当期純利益 13.5 億円の、通期連結業績見通しは、売上高 355 億円、経常利益 32 億円、当期純利益 15 億円のそれぞれ修正いたします。

以 上